

# KŌGEI

THE 72nd  
JAPAN TRADITIONAL  
KŌGEI EXHIBITION



第72回

## 日本伝統工芸展

2025年 12月3日水 - 24日水 会期中無休

[開館時間] 10時-18時30分(展示室への入場は18時まで)

主催: 島根県、島根県立美術館、島根県教育委員会、NHK松江放送局、朝日新聞社、山陰中央新報社、  
公益社団法人日本工芸会、SPSしまねグループ

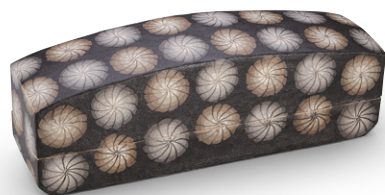
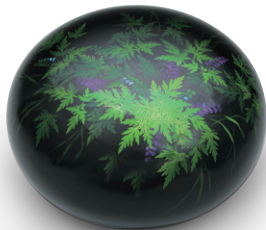
後援: 島根県、島根県教育委員会、公益財団法人しまね産業振興財団、公益財団法人しまね文化振興財団

  
文化庁  
令和7年度  
文化庁補助事業

 島根県立美術館

# KŌGEI

日本伝統工芸展は工芸技術の保護育成を目的に、1954年より毎年開催されている公募展です。陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門にわたり、厳正な審査を通過した作品が11会場で展覧されます。23回目を迎える松江会場では、地元山陰に在住する作家の作品をはじめ、重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品や受賞作など計270点を展示します。



THE 72nd  
JAPAN  
TRADITIONAL  
KŌGEI  
EXHIBITION

## 記念講演会 聴講無料

12月13日(土)13時30分～(13時開場/約60分)

講師:林 曉

[漆芸作家、重要無形文化財「髹漆」保持者(人間国宝)]

演題:「工芸と美術 伝統と革新技術の融合」

会場:美術館ホール(190席/当日先着順)

林 曉(はやし さとる)

1954年東京都生まれ。東京芸術大学大学院修了。田口善国、増村益城に漆芸を学ぶ。本展では第43回展で日本工芸会会長賞、第56回展で文部科学大臣賞を受賞。2010年には紫綬褒章を受章した。長年、富山大学等において漆芸教育に携わり、多くの漆芸作家を育てているほか、伝統的な手技に3Dプリンタなどの最新技術を合わせた取り組みでも知られる。優れた造形感覚と髹漆の高い技術が評価され、今年重要無形文化財「髹漆」保持者に認定された。



《乾漆朱塗合子》  
重要無形文化財保持者 林 曉

## ギャラリートーク 要覧観覧料

会場:企画展示室 各日14時～(ただし13日は講演会終了後)

12月6日(土)【人形】満丸 正人 [鑑査委員]

12月7日(日)【木竹工】三浦 信一 [鑑査委員]

12月13日(土)【漆芸】林 曉 [重要無形文化財「髹漆」保持者]

12月14日(日)【陶芸】内田 和秀 [出品作家]

12月20日(土)【染織】海老ヶ瀬 順子 [鑑査委員]

12月21日(日)【諸工芸】栗根 仁志 [鑑査委員]

## 会期の平日に小学校団体向けの 作品鑑賞講座を実施します。

当館ホームページより「学校団体来館予約申込書」および「観覧料等減免申請書」をダウンロード・記入のうえ、FAX:0852-55-4714へお送りください。

※解説希望を明記ください。※バスの送迎はありません。※日時によってはご希望に沿えない場合があります。予めご了承ください。

## 観覧料

[オンラインチケット・ローソンチケット] 11月3日より販売

一般 日本伝統工芸展700円

日本伝統工芸展・コレクション展セット850円

※( )内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳(障害者手帳  
アプリ:ミライロID)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、  
被爆者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は1名まで無料

[当日券] 一般 日本伝統工芸展800(640)円

日本伝統工芸展・コレクション展セット950(760)円

大学生 日本伝統工芸展600(480)円

日本伝統工芸展・コレクション展セット700(560)円

## 高校生以下無料

## かそくの時間

作品についてお話ししながら鑑賞いただけます。毎日10:00-12:00(休館日を除く)

交通案内  
JR松江駅から徒歩約15分  
JR松江駅から松江市営バス(南循環線内回り)6分  
→「県立美術館前」下車  
観光ループバス(レイクライン)  
→「県立美術館前」下車  
山陰道→松江西ランプから車で約5分

駐車場  
国道9号袖交差点南進(駐車場より地下道をご利用ください)  
※3時間まで無料

次回企画展予告  
島根から世界へ! 生涯150年石橋和訓展  
2026年3月6日(金)~6月8日(月)



島根県立美術館 〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5  
TEL.0852-55-4700 FAX.0852-55-4714  
https://www.shimane-art-museum.jp

表面 日本工芸会総裁賞(硝子重箱「織花」)和泉 香織  
裏面(左上から右に)《紙塑和紙貼「つかの間の休息」》小村 真知子(出雲市)、《存清食籠「籠」》高橋 香葉(松江市)、《松造拭漆盛器「月光」》村山 創達(松江市)、《瑠璃袖壺》森 和之(鳥取市)、《広瀬耕着物「志岐の風」》永田 佳子(安来市)、《霜天青瓷掛分壺》坂本章(鳥取市)、《経経幾何文壺》内田 和秀(松江市)、《沈泥彩陶甗》犬山 卓也(出雲市)、《有線七宝蓋物「大楽」》楠語 冢子(鳥取市)、《白瓷面取鉢》重要無形文化財保持者 前田 昭博(鳥取市)、《紙塑和紙貼「日常」》松本 輪加子(松江市)